

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 29 年度留学生受入推進事業  
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 参加者報告書

2018 年 6 月 8 日

学生 情報	氏名 name	Impitaks Amind (インピタック エイマイ)
	出身国 country	タイ
	出身大学 university	Kasetsart University (カセサート大学)

1. 本プロジェクトへの応募から現在までの活動について簡単にまとめてください。

私はタイのカセサート大学人文学部東洋言語学科ビジネス日本語専攻の 4 年生です。カセサート大学に入学した時から日本語についてたくさん勉強してきました。日本語を勉強すればするほど、だんだん難しくなりましたが、日本語の能力も高まりました。しかし、3 年生になっても、分からないところはまだ多く、タイで勉強するだけでは足りないと思って、日本へ留学しようと思いました。そして、カセサート大学で、鹿児島大学のこのプログラムを知りました。インターネットで調べたところ、鹿児島県は天気良くて、とても綺麗な桜島火山もあって、自然に囲まれていますので、日本の自然が大好きな私だったら、鹿児島大学が一番いいと思いました。鹿児島に来て、日本人より他の留学生と日本語で話していますが、私は日本語がもっと上手になりたいと思っています。「進取の精神」奨学金をもらったおかげで、私は鹿児島の生活をするのに心配がなくなって、勉強に集中できます。そのため、毎日一所懸命勉強しています。日本語クラスを受けるだけでなく、私は日本人学生にタイ語を教えています。さらに、いろんな交流活動にも参加しました。例えば、お茶摘みや南九州市の国際交流イベントなどです。とてもいい経験で、日本の魅力にもっと懂れています。鹿児島大学で勉強するのはとても楽しくて、外国人や日本人の友達もたくさんできました。文化交流をして、日本人の考え方や文化について分かるようになり、自分の国の考え方や文化などと比較することもできるようになりました。これからもたくさん勉強して、頑張りたいです。

2. 本プロジェクトで行った地域活動について、参加者の視点から報告してください。

2018 年 2 月、私は他の留学生達と鹿児島大学附属小学校の国際交流活動に参加しました。附属小学校に着いたら、多くの小学生達が待っていました。みんなすごく元気で、私はびっくりしました。私は自分の国について説明しました。学生達はよく聞き、私にタイについて多くの質問をしてくれました。そして、子供達は日本と鹿児島の詳しい情報について話しました。その後、私達はお互いにタイと日本についてクイズしたり、ゲームしたりしました。とても楽しかったです。みんなのおかげで、私は日本と鹿児島のことについてたくさん分かるようになりました。



3. まとめ (感想や今後の展望)

私は留学が終わったら、カセサート大学を卒業して、日本の大学院に進学したいです。もっと日本語の能力を向上させることと日本の社会文化を学ぶことという目標を達成したいと思っています。機会があれば、もう一度、日本に来たいです。